勝山ひでお 県政レポート

長野県議会議員

VOL.5
2025 秋号

現場第一！ひたむきに走る

高校生の自転車事故防止へ

～「マナーアップ」と「ヘルメット着用」の推進

9月定例会 一般質問

高校生の自転車事故防止に向けて、交通マナーの向上とヘルメット着用の推進について質問しました。

高校生の事故は全体の1/3

【勝山】R7年8月末までの県内の自転車事故は319件でそのうち高校生が104人。来年度から16歳以上を対象に自転車の交通違反に「青切符制度」が導入されます。若者への周知と事故防止対策が急務です。

地域・学校・警察の連携を

【勝山】全国の先進事例を紹介して次のような具体策を提案しました。

- 通学時間に警察・PTA・地域が協力する「合同街頭指導」
- 自転車通学を「許可制」とし、違反時は許可を取り消す。
- 生徒が自作する「交通安全啓発動画コンテスト」や「優良校表彰制度」。

【県民文化部長】出前講座や啓発活動を行うなど高校生のマナー向上に努めてきた。今後も警察や学校と連携し制度の趣旨を丁寧に周知し、マナー向上に努める。

高校生の着用率は26.9%

【勝山】自転車事故を起こした県内高校生のヘルメットの着用率は26.9%。
「命を守るための啓発を徹底すべき」と訴えさせていただきました。
「見た目がダサい」「髪型が崩れる」といった理由で着用をためらう高校生もいるので、ヘルメットデザインコンテストや整容スペースの設置を提案させていただきました。

【教育長】生徒がヘルメット着用の抵抗感を軽減できるような環境整備について学校現場と研究する。

一般質問の動画は右のQRコードよりご視聴になれます。是非ご覧ください。

9月定例会

6月定例会 県民文化健康福祉委員会での質疑

県立美術館 駐車料金の柔軟対応を要望

【勝山】展覧会を主催する団体から「駐車代金の負担が大きい。」と伺いました。主催者の長時間利用に対して「無料または割引対応も検討すべき」と質問。

【文化振興課長】利用者の立場に立ち、事務局で可能な限り柔軟に対応していく。

【勝山】長野市開発公社とも連携し、より利用しやすい運営を要望。

ユースセンター設置の拡大を

【勝山】若者の「第三の居場所」として注目されているユースセンターの整備状況を確認。

【こども若者次世代課長】茅野市「CHUKO らんどチノチノ」や須坂市「coto²」など先進事例を紹介。今年度は元気づくり支援金の重点政策として設置促進を支援中。

【勝山】「ユースセンターを経験した若者が地域のリーダーに育つ可能性がある。県内に広く普及を」と要望。

県立総合リハビリテーションセンター移転へ調査開始

令和元年台風19号で浸水した現施設の安全確保の為、県営駒沢新町第二団地跡地で地籍調査を実施中。

【勝山】正式に移転が決まったら、近隣の市立長野高校や高専との交流を行っていただきたい。また、サンアップルとの連携や交通アクセスの配慮を求める。

【障がい者支援課長】教育機関との連携も視野に検討する。

公明党長野県議団 長野市・上水内郡第２支部　〒381-0005長野市北堀735-2　E-mail：katsuyamahideo@gmail.com